

令和4年度 長期フォローアップ移行期医療検討委員会 活動報告

令和4年度下半期 長期フォローアップ移行期医療検討委員会活動報告

委員 長：大賀 正一、副委員長：松本 公一
 委員：石田 也寸志、大植 孝治、上別府 圭子、清谷 知賀子、
 竹之内 直子、長 祐子、大園 秀一、湯坐 有希、
 家原 知子、宮村 能子、檜山 英三、日野 もえ子、
 三善 陽子、塩飽 仁
 オブザーバー：前田 美穂、黒澤 彩子（敬称略）

(1) 委員会等の開催

開催日	開催場所	検討内容
令和4年4月12日	Web	昨年度アドバンス研修開催後の振り返り 本年度の小児・AYA世代のがんの長期フォローアップに関する研修会開催について（Lifetime Care and Support for Child, Adolescent and Young Adult Cancer Survivors 以下、LCAS） 移行期医療について
令和4年6月7日	Web	第1回LCAS（兵庫）研修会開催について 研修テキストの改訂について 移行期医療について
令和4年8月2日	Web	第1回LCAS（兵庫）開催に後の振り返り 第2回LCAS（静岡）研修会について 移行期医療について
令和4年10月11日	Web	第2回LCAS（静岡）開催後の振り返り 第3回LCAS（東北）研修会開催について 移行期医療について
令和4年11月29日	Web	第3回LCAS（東北）開催後の振り返り LCAS アドバンス研修について 移行期医療について 移植後小児成人移行をサポートするツールプロジェクトについて 次年度のLCAS 研修会開催について
令和5年1月31日	Web	第3回LCAS（東北）開催後の振り返り 第4回LCAS（埼玉）開催について LCAS アドバンス研修について

令和 5 年 2 月 28 日	Web	移行期医療について 移植後小児成人移行をサポートするツールプロジェクトについて 次年度 LCAS 研修会開催について 第 4 回 LCAS（埼玉）開催後の振り返り LCAS アドバンス研修について 移行期医療について 移植後小児成人移行をサポートするツールプロジェクトについて 次年度 LCAS 研修会開催について
-----------------	-----	--

(2) 研修会の開催

開催日	開催場所	対象者	人数
①令和 4 年 7 月 3 日	Web	① ② ③ ④	①48 名
②令和 4 年 8 月 20 日	Web	小児がん・AYA 世代がん医療に携わる医師、看護師、チャイルドライフスペシャリスト、ホスピタルプレイスペシャリスト、保育士、心理士、リハビリスタッフ、がん相談支援センター相談員、その他	②42 名
③令和 4 年 12 月 24 日	Web		③41 名
④令和 5 年 2 月 18 日	Web		④42 名
⑤令和 5 年 3 月 12 日	Web		⑤ 小児がん拠点病院に所属し「小児・AYA 世代のがんの長期フォローアップに関する研修会」を受講修了している、小児がん・AYA 世代がん医療に携わる医師、看護師、チャイルドライフスペシャリスト、ホスピタルプレイスペシャリスト、保育士、心理士、リハビリスタッフ、がん相談支援センター相談員、その他

(3) 移行期医療について

「小児期発症 血液・腫瘍疾患患者のための成人医療移行支援ガイド」として、基本的姿勢、小児がん（中枢神経腫瘍以外）、脳腫瘍、ITP、血友病をホームページに掲載し(<https://www.jspho.org/journal/guideline.html>)、学会誌上に、大園医師から「小児期発症血液・腫瘍性疾患の成人への移行期支援に関する基本的姿勢」という委員会報告を掲載した。小児がん領域では、幼少期から多系統にわたる合併症を来すため、小児科学会分科会の他の専門学会との連携を行い、共同してカウンターパートとなる成人領域の移行に向けた提言を行い、徐々にカウンターパート先を拡げていく計画である。学会内の社会・広報委員会とも連携する。

経費支出額明細書

区 分	支 出 済 額			備 考
	員 数	単 価	金 額	
小児・AYA世代のがんの長期フォローアップ体制整備事業		円	円	
諸謝金		一式	25,882,983 2,621,370	講師・ファシリテーター・運営スタッフ・委員 第1回兵庫 410,000円 第2回静岡 300,000円 第3回東北 360,000円 第4回埼玉 430,000円 アドバンス 160,000円 長期フォローアップ・移行期医療に関するe-ラーニング動画作成（17講義） 850,000円 全研修会で使用するe-ラーニング講義資料作成（2講義） 111,370円
旅費		一式	385,311	交通費・宿泊費 385,311円
庁費		一式	124,500	事務用品購入費・賞状用紙 124,500円
消耗品費		一式	5,466,500	送付用封筒印刷 121,000円 テキスト印刷費・コピー費 4,810,460円
印刷製本費		一式		テキスト貼付用DVD（pilot版）制作費 535,040円
通信運搬費		一式	824,910	電話代 75,976円

借料及び損料	一式	708,829	Zoom契約料 508,640円郵便・宅配料 240,294円 研修機材レンタル料（静岡研修・東北研修） 625,629円 研修施設利用料（静岡研修・埼玉研修） 83,200円
会議費	一式	124,661	講師・ファシリテーター・運営スタッフ昼食費 124,661円
賃金	一式	5,915,928	事務局員（3名） 5,915,928円
法定福利費	一式	133,304	事務局員（1名） 133,304円
雑役務費	一式	504,050	振込手数料 120,400円 チラシ印刷・封入・局出し 383,650円
委託費	一式	9,073,620	e-ラーニング運用・維持費 4,563,900円 事務局維持・労務会計補助・ホームページ管理・源泉徴収手数料 4,202,000円 ホームページ申込フォーム・ログインシステム作成費 174,680円 給与計算業務 133,040円

事業実績報告書

1. 長期フォローアップを担当する多職種協働チームの育成

(1) 研修の方法等検討委員会

(2) 研修会

研修会の内容
<p><小児・AYA 世代のがんの長期フォローアップに関する研修会></p> <p>小児がんサバイバーの晩期合併症、長期フォローアップの重要性を認識すること、並びに小児がんの成人医療への移行に対する支援、患者の自立への支援に加えて、AYA 世代がんの晩期合併症と長期フォローアップの重要性を医療人が認識すること、AYA 世代のがんに対する支援、患者の</p>

自立、社会復帰、生殖機能温存などへの支援を医療者がどのように行うかを目的として研修を開催した。

e-ラーニングシステムを本格導入したことで、研修については講義と演習の2部制として開催した。講義については、システムを使用して7コンテンツを必須科目とし、参加者各自で事前に受講いただいた。演習については、集合研修にてグループワークを行う予定であったが、コロナ禍のため、Web 会議システムを使用してグループワークによる事例検討を3事例行った。

＜小児・AYA 世代のがんの長期フォローアップに関するアドバンス研修会＞

長期フォローアップ上の困難例を共有し、問題点の抽出、必要な対応や対策を考えることを目的として、小児がん拠点病院に所属する医療従事者を対象にアドバンス研修を開催した。参加いただいた27施設より、各困難事例を提示いただき困難事例の共有を行うとともに、そこから3事例を本研修の課題事例として、グループワークによる事例検討を行った。

(3) ホームページの運用

事業実績
小児・AYA 世代のがんの長期フォローアップ体制整備事業専用ホームページの更新。研修会の開催概要等、随時更新。

2. 長期フォローアップを担当する多職種協働チームの支援

事業実績
小児・AYA 世代のがんの長期フォローアップ体制整備事業専用ホームページと、昨年度構築した、小児がんの基礎をわかりやすく解説し広く理解できるよう、e-ラーニング動画を収集した視聴コンテンツを充実させた。また、受講者が講義内容を確認できるようにし、e-ラーニングシステムを使用し研修会後も学習できるよう整備するとともに、テキスト、講義の内容についても新しい情報に改定作業をした。研修会における受講者やサバイバーなどからの質問や問い合わせを随時受け、本事業内での専門家からの回答やアドバイスなどの支援を行った。また、小児期発症血液・腫瘍疾患患者のための成人医療移行支援ガイドを作成し、研修会の他、全国の施設へ配布した。

2023年度

小児・AYA世代のがんの長期フォローアップに関する研修会

LCAS - Lifetime Care and Support for Child, Adolescent and Young Adult Cancer Survivors

開催にあたって

小児・AYA世代（思春期・若年成人）のがんの治療成績は向上していますが、治療終了後に出現するさまざまな問題については医療者の間でさえ、まだ十分な理解が得られていません。このたび、小児・AYA世代のがんの長期フォローアップと小児から成人への移行期医療の重要性を、医師・看護師および関係する多職種の方々に認識していただくため、2017年度から継続している厚生労働省委託事業の一環として研修会を開催いたします。

昨年度に引き続き、コロナ禍にてWEB開催(予定)となりますが、皆様のご参加をお待ちしております。

WEB開催

(Zoomミーティング・予定)



第**1**回 2023年 **07**月**22**日（土） 09:30～16:00(予定)

主幹：三重大学医学部附属病院



第**2**回 2023年 **09**月**02**日（土） 09:30～16:00(予定)

主幹：東京都立小児総合医療センター



第**3**回 2024年 **02**月**18**日（日） 09:30～16:00(予定)

主幹：京都大学医学部附属病院

参加費

無料 *ただし、受講のために要する費用（宿泊、交通費、インターネット接続費等）は受講者負担となります

募集人数

各回 45名程度（WEB開催のため、個人参加を原則とします）

募集期間

第1回 2023年05月29日(月) 9:00 から 06月02日(金) 15:00まで
第2回 2023年07月03日(月) 9:00 から 07月07日(金) 15:00まで
第3回 2023年12月04日(月) 9:00 から 12月08日(金) 15:00まで

申し込み方法

下記HPの申し込みフォームよりご応募ください。
<http://www.jspho.org/lifetime-care-and-support>

応募資格

医師(臨床経験5年以上)、看護師(臨床経験3年以上)、ソーシャルワーカー、心理士、理学療法士、作業療法士、薬剤師、保育士、チャイルドライフスペシャリスト、ホスピタルプレイスペシャリスト、特別支援学校教員(病弱)、など

受講者の決定

応募者多数の場合は人数等の制限させていただくことがございます。参加の可否については、締め切り後にご連絡いたします。また、予定人数に達した場合は募集期間前に締切ることがございます。

講義内容

当研修会はe-Learningと集合研修で構成されています。
各日程の研修会へお申込みいただき、参加が確定しましたら、研修会2日前までに、e-Learningの受講をお願いいたします。

問い合わせ先

一般社団法人 日本小児血液・がん学会 事務局 LCAS担当
〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13-4F 学会支援機構内
TEL: 03-5981-6011 FAX: 03-5981-6012
E-mail: jspho_seminar@asas-mail.jp

